

箱根土曜塾からのお知らせ No.09

～「箱根土曜塾」で活躍する講師について～

箱根土曜塾は受講生の学力に応じて6つのグループ（5～6名）に分かれ、各グループの講師が受講生に合わせたプログラムにより、授業を行っています。今回は、箱根土曜塾の運営を委託している株式会社 城南進学研究社のスタッフを紹介し、城南進学研究社の皆さんは、授業・教材の作成・保護者会・学習法ガイダンスの実施等、受講生の希望校合格のため、熱心に箱根土曜塾を運営しています。

受験生の皆さんが、日頃の勉強の成果を発揮できるように心より応援しています！ 頑張れ受験生！

①氏名 ②箱根土曜塾の魅力 ③オススメの緊張をほぐす方法 ④受験生に向けた応援メッセージ

- ①山中 裕法 (左上)
- ②WEB教材と講師指導が融合した先端授業
- ③緊張している、と口に出す。
- ④冷静に。できると信じて！

- ①岡本 龍 (右上)
- ②適正人数の口型演習
- ③大好きな食べ物を想像し、終わればご馳走！と、少し気をそらす。
- ④受験当日まで学力は上がります。試験会場には早めに行ってください！

- ①水野 雅恭 (左下)
- ②アクティブラーニング
- ③うす目で「できるできる…」と10回唱える。
- ④学ぶことは人生そのもの！最後までがんばれ！

- ①新沼 正太 (右下)
- ②生徒との距離が近く理解度を重視しているところ
- ③周りの方が緊張していると言いつけさせる。
- ④大丈夫。自信を持って！



箱根土曜塾についての詳細は、学校教育課まで！(☎85-7600)

箱根町『園・小・中学校一貫教育(分離型)』

町議会見学編

町議会12月定例会が開催された際、町立小学校3校と恵明学園小学校の6年生が社会科の授業で議事を傍聴しました。

この取組は、町民の幸せな暮らしを実現しようとするために、箱根町の政治がどのような動きをしているのか、興味・関心を高めるとともに理解を深めることを目的として、平成27年度から実施しており今回で5回目となります。

子ども達は、各学校で事前に学習してきた内容と、議事を傍聴する際の注意事項について、町職員から説明を受けた後、議場の傍聴席へ移動し、箱根町をより良い町にするために厳粛な雰囲気のもとで真剣に議論している様子を見学して、緊張した面持ちで耳を傾けていました。

町議会見学の様子

その後、普段はなかなか入ることができない議長室や町長・副町長室をはじめ、町の職員が仕事している様子も見学しました。子ども達からは「私達町民のために議会で話し合ってくれているのが分かった」、「学校で話し合う時に、議会のように友達の意見をよく聞いたり、相手に分かりやすく質問したりしてみようと思う」といった感想があり、貴重な体験となったようでした。

今後も各小・中学校の子ども達が共通の体験をできる機会を設け、一貫教育を推進していきたいと考えています。



議事を傍聴する子ども達 (仙石原小学校)



箱根ジオパークの拠点施設の方や学芸員にいちおしのジオサイト等を紹介してもらおうよ！



私の「イチオシ」

はじめまして。生命の星・地球博物館 学芸員の西澤と申します。火山灰や軽石などの火山噴出物を専門に研究しています。今回は、南足柄エリアの文命堤を紹介しようと思います。文命堤は、江戸時代に自然の地形と人間の技術を組み合わせて造られた堤防です。実はその成り立ちを紐解くと、私たちの住む地域が噴火現象の影響下にあることが実感できます。

西暦1707年の富士山の宝永噴火では、噴出した大量のスコリア（黒く多孔質な火山礫）が酒匂川流域に供給されました。このことが酒匂川下流の足柄平野に住む人々にもたらしたものは、度重なる洪水被害でした。富士山からのスコリアが降り積もり、それらが二次的に流入することで酒匂川の河床が上がり、氾濫が起こりやすくなったのです。このとき人々がとった対策が、酒匂川がちょうど足柄平野に差し掛かるところで、流路をジグザグに変え、水の勢いを弱めてから下流に流そうという文命堤の治水工事でした。そして、ここで利用された自然の地形は、6万6千年前に箱根火山のなかでも最大級の大規模噴火によって、山麓に流れ下った火砕流堆積物です。文命堤で千貫岩と呼ばれる場所にあたり、新大口橋の東側で比高20mほどの崖をつくっています。この堆積物にはその大規模噴火のマグマに由来する灰白色の軽石や火山灰がぎっしりと詰まっており、締まっていますが溶岩のように硬くはありません。河川が蛇行するとき、その外側の速い水流が当たる地形を攻撃斜面といい、水の流れが遅い内側の岸を滑走斜面ということがあります。まさにこの文命堤の千貫岩は、分厚い火砕流堆積物でできた壁を、酒匂川の流路を無理やり曲げることで攻撃斜面として最大限利用し、水流を弱めることに成功したのです。暴れる川も、それを治める地形にも火山活動の結果が関係しているのです。

新大口橋から眺めることができる文命堤は、四季に応じて河原にせり出す植物の彩が変わる楽しみもあります。この場所で、富士山東麓から相模湾に至る酒匂川の旅路や、遠く江戸時代に噴火と闘った人間の知恵に想いを馳せてみてはいかがでしょうか。

照会先 神奈川県立 生命の星・地球博物館

☎0465-21-1515

ホームページ <http://nh.kanagawa-museum.jp/>



文命堤 (千貫岩)

